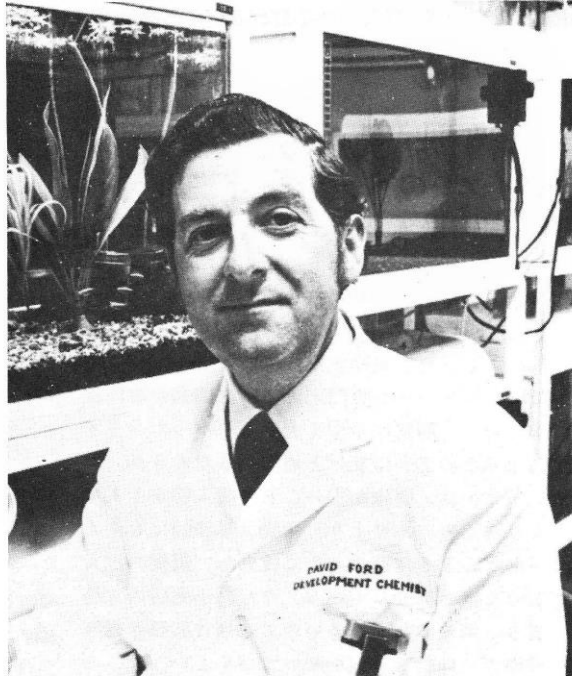


時の人

“アクアリアン”を研究開発した

デビッド・フォード博士



キョーリンが発売している観賞魚用飼料アクアリアンの研究開発者であるデビッド・M・フォード博士（英国＝トーマス社、44才）が9月30日来日した。

同博士は英国トレント・ポリテクニク大学およびノッティンガム大学を卒業、自然化学博士であり、現在英国食品科学技術協会の準会員で食糧関係の学術にも精通しているが、アクアリアンの開発については、「世界中の熱帯魚用飼料を集めて分析した結果、すべての飼料が加工を経た乾燥原料から製造されていることがわかった。そこで、肉や野菜を生のままブレンドしてから乾燥させ、出来るだけ新鮮なものをつくれるよう試みた」と語り、37カ国に輸出されている実績は高く評価される。

「新鮮さ」をキャッチフレーズにしたアクアリアンは1975年英国ベディグリー社から生産され、日本市場にはキョーリンを経て今年3月に上陸、業界では「テトラミンとの一騎打ち」などと話題を呼んだが、「英国の観賞魚フード市場は金額にして約200万ポンドだが、アクアリアンは現在100万ポンドの売上げを見るに至っている」と自信を持っている。

今回の来日目的は自分の手で開発したこのアクアリアンの情報交換であるが、博士は幼少の頃から観賞魚愛好家で、現在自宅では熱帯魚、海水魚、金魚、鯉とすべての観賞魚を飼育するなど大変熱心で、とりわけ錦鯉に関しては英国に4つある錦鯉愛好家団の1つ—ミッドランド鯉協会の会長職もつとめてい

て、1週間の短い滞日期間に京都の庭池や、姫路や弥富の養殖場を見学するなど、その方面での視察も精力的に消化していた。

本場、日本の錦鯉について、「私も自慢に思う鯉もっていたが、日本の素晴らしい鯉をこの目で見て、駄鯉だったことがわかりがっかりした」と冗談もまじえて賞賛していた。そして、観賞魚の飼育には飼料が重要度を占めるが、鯉や金魚などは無論飼料も大事だが、水や気候風土といったものの重要性も再認識したという。

英国では最近、庭池に錦鯉を飼育することがはやり出し、鯉ブームは年々上昇の一途だが、英国で錦鯉を生産することについては、「私の持っているカメラが日本製のものであるように、英国人は良いものしか求めない国民性です。したがって、鯉も日本のものを輸入せざるを得ないでしょう」とユーモアで語り、実際、日本の伝統的な錦鯉に関しては飼育技術の面で追いつくのは相当の年数を要し、日本からの輸入に依存したほうが賢明としている。

また、博士の愛魚家ぶりは自宅で飼育している海水魚を産卵させることに成功しているなど枚挙にいとまないが「産卵させた稚魚を育てるのに失敗したのは海水魚の稚魚用フードがないからで、今度はその方面の研究もしていきたい」等、研究者としての目は常に光っているようだ。

（関連記事→24頁）

Nikkan Kogyo Shimbun
(Industrial Daily News)

October 20, 1978

TROPICAL FISH FOOD SPECIALIST

"I am quite surprised to see many good 'koi' (carp) in the fish farms I visited here. True, Japan is the homeland of koi. I think that the traditional Japanese feeding method, particularly the food is good enough," said Dr. David Ford, who is responsible for the development of pet foods at Thomas's, a British company.

As a result of analyzing various ornamental fish foods collected from all over the world, Dr. Ford developed a new type of food for tropical fish named "Aquarian." The objective of his recent visit to Japan was to introduce this product. He tried to visit a few fish farms to find out something about the Japanese fish foods.

The British doctor is President of the Midland Koi Association. So he has been very interested to know how ornamental carp are raised in Japan. Dr. Ford thought there must be some traditional secret in the food. He added enthusiastically, "The tropical fish industry is very prospective in the UK. I would like to work on ornamental fish equipment as well, although our business alone will not help to correct the trade imbalance between Japan and the U.K. ..."

#